いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり 政策 02

高齢者福祉の推進 施策 03









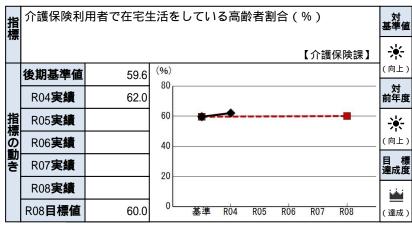




あるべき姿

高齢者が住み慣れた地域で安心と生きがいを持った生活をしています。

施策の成果状況と評価



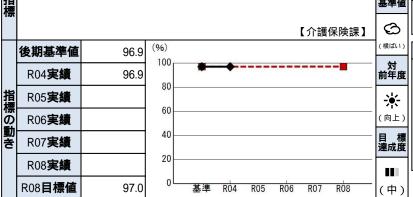
指標値の注釈

面会の制限等で、施設の利用控えがあった可能性はありますが、今後も在宅介護の高齢者が住み慣れた地域で少しでも長く暮らしてい けるよう、介護サービスの充実を進めていき

ます。

分析 評価

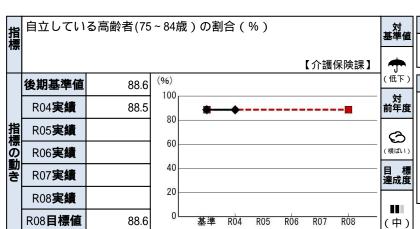
自立している高齢者(65~74歳)の割合(%) 対 基準値 【介護保険課】 横ばい (%) 後期基準値 96.9 100 対 前年度 R04実績 96.9



分析 評価

指標値の注釈

前期高齢者においては、前年度同月と比較し第1号被保険者数・要介護(要支援)認定者数共に減少しておりますので、今後も適切な 申請時期の案内や早い段階での介護予防・健康づくり事業に努めます。



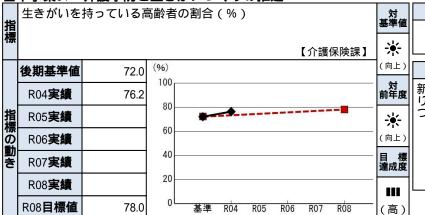
指標値の注釈

分析 評価

高齢化の進展に伴い、後期高齢者は、前年度 同月と比較し第1号被保険者数・要介護(要 支援)認定者数共に増加しています。新型コ ロナウイルス感染症の影響により、予防事業 等の人数制限を行っていたことが影響したも のと考えます。

基本事業の成果状況と評価



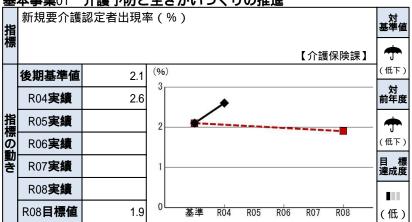


分析 評価

指標値の注釈

新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、高齢者の活動もコロナ前の状況に戻りつ つあると考えられます。

基本事業01 介護予防と生きがいづくりの推進

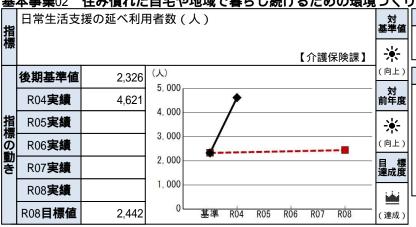


分析 評価

指標値の注釈

高齢者人口の増加、新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者の身体機能の低下等の要因により、新規申請の増加へ繋がったものと考えられます。今後も引き続き、介護予防の必要性を啓発し、適切な介護認定に取り組

基本事業02 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための環境づくり

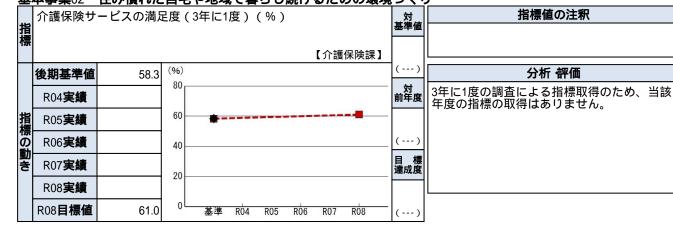


分析 評価

指標値の注釈

民間において同様のサービスが実施されていることや、介護保険でのサービスの充実によりサービス利用者の選択肢の幅が広がったこ とが要因に挙げられます。今後も、サービスが必要な方に適切なサービスが提供されるよう、ホームページや高齢者関連サービス一覧を活用し周知を図ります。

基本事業02 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための環境づくり



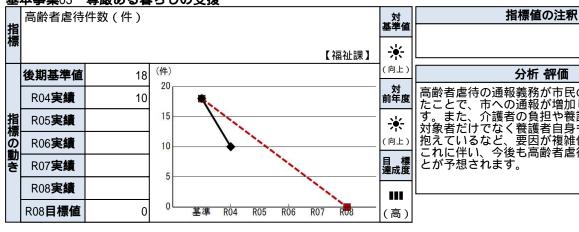
基本事業02 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための環境づくり 指標値の注釈 入所待機者数(要介護度3以上)(人) 対 基準値 `*-【介護保険課】 (向上) (人) 後期基準値 130 分析 評価 140 対 前年度 コロナ禍が影響したと考えられます。今後 も、在宅の介護サービスを充実させていくと ともに、施設の基盤整備を進めていきます。 R04実績 107 120 指標の R05実績 100 80 (向上) R06実績 動き 60 目 標達成度 R07実績 40 R08実績 20 0 基準 R04 R08**目標値** 110 R05 R06 R07 R08

(達成)

基本事業02 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための環境づくり

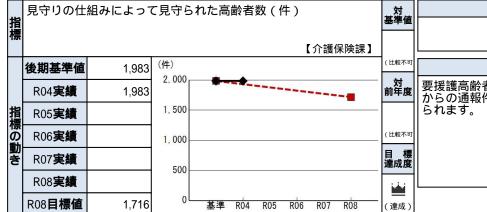


基本事業03 尊厳ある暮らしの支援



高齢者虐待の通報義務が市民の方々へ浸透し たことで、市への通報が増加したと思われます。また、介護者の負担や養護者との関係、 対象者だけでなく養護者自身も困りや課題を 抱えているなど、要因が複雑化しています。 これに伴い、今後も高齢者虐待が増加するこ

基本事業04 支え合える地域づくりの推進

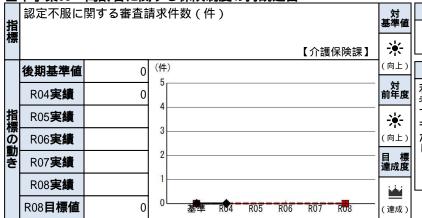


指標値の注釈

要援護高齢者等支援ネットワークや民生委員 からの通報件数が増加したことが要因と考え

分析 評価

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

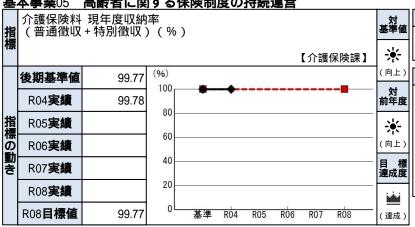


指標値の注釈

分析 評価

利用者の個々の身体状況や生活状況、 考え方など苦情の原因は様々ですが、窓口等 での説明によりご納得いただいたことによる ものです。今後も引き続き、認定結果に不服 が起きないよう受付時や調査時に丁寧に説明 していきます。

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

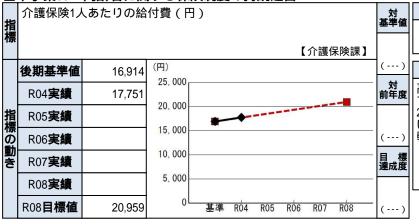


指標値の注釈

被保険者の理解が進んでいることに加え、 版の催告や納付勧奨を行っていることが挙げられます。今後も納付者との公平性を図るためにも、収納率の向上を目指します。

分析 評価

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

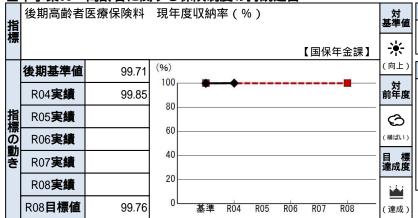


分析 評価

指標値の注釈

高齢者の増加により、給付費も増加する傾向です。必要保険料月額においては、昨年度5,215円に対し、本年度5,213円と2円減少していますが、第1号保険料月額(5,200円)と比較すると、13円超過しています。

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営

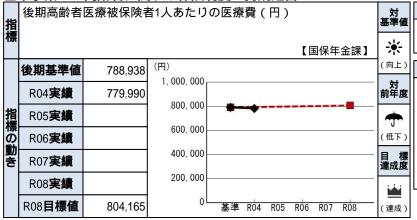


指標値の注釈

分析 評価

口座振替の推進や徴収強化の取組を推進した とが挙げられます。

基本事業05 高齢者に関する保険制度の持続運営



指標値の注釈

分析 評価 対前年度において、1人あたりの医療費は増加しました。令和3年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により受診を控えていましたが、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつあることが考えられます。被保険者数の増加に伴い、今後も総医療費の増加が見込まれます。